

第39回 刈谷市都市交通協議会 議事概要

■日 時：令和8年6月22日（月）10:00～12:00

■場 所：刈谷市役所 7階大会議室

■議 題：

- 1 デマンド交通「チョイソコかりや」本格運行について
- 2 地域公共交通計画認定申請について
- 3 令和7年度決算について

■報告案件：

- 1 刈谷市都市交通戦略の進捗報告（令和7年度）について
- 2 刈谷市地域公共交通計画の実施施策（令和7年度）について
- 3 刈谷市自転車活用推進計画の進捗報告（令和7年度）について
- 4 東浦町コミュニティバス「う・ら・ら」の運賃改定について
- 5 令和8年度協議会スケジュールについて



■出席者：

委員号数	所属（役職）	氏 名	出欠
第1号委員	中部大学 名誉教授	磯部 友彦	○
第1号委員	大同大学 建築学部 建築学科都市空間インフラ専攻 准教授	樋口 恵一	○
第2号委員	トヨタ紡織㈱ 総務部 総務室長	亀井 隆	○
第2号委員	トヨタ車体㈱ 総務部 総務室長	宮地 哲也	○
第3号委員	名古屋鉄道㈱ 地域連携部 主務	内藤 真一	○
第4号委員	（社）愛知県トラック協会西三支部刈谷部会 部会長	出口 達也	○
第4号委員	愛知県タクシー協会 副会長	横山 宜幸	○
第4号委員	（公）愛知県バス協会 専務理事	小林 裕之	○
第4号委員	知多乗合株式会社 代表取締役社長	近藤 博之	代理 （橋本大輔）
第4号委員	東伸運輸株式会社 代表取締役社長	片桐 徹	○
第4号委員	大興タクシー株式会社 代表取締役社長	潮田 憲	○
第4号委員 兼第5号委員	名鉄バス㈱ 運輸本部 首席 交通企画官	後藤 泰之	代理 （上原真人）
第6号委員	自治連合会 副会長	神谷 和雄	○
第6号委員	女性の会連絡協議会 書記	御厨 麻紀子	欠席
第6号委員	刈谷商工会議所 専務理事	岡田 行永	○
第6号委員	一般社団法人 刈谷青年会議所 理事長	河 征孝	○
第6号委員	かりや消費者生活学校 運営委員長	作田 美乃利	代理 （安藤敏子）
第7号委員	中部運輸局 愛知運輸支局 首席運輸企画専門官	原田 光一郎	○
第8号委員	愛知県交通運輸産業労働組合協議会 幹事	神野 利和	代理 （加古寛樹）
第9号委員	刈谷警察署 交通課長	有田 規宏	○
第10号委員	愛知県 知立建設事務所 企画調整監	志賀 雅樹	○
第10号委員	刈谷市建設部長	竹内 健人	欠席

第 11 号委員	愛知県 都市・交通局 交通対策課長	田口 敦史	代理 (鈴木翔太)
第 11 号委員	愛知県 都市・交通局 都市基盤部 都市計画課長	青柳 克彦	代理 (五井直輝)
第 12 号委員	刈谷市都市政策部長	清水 雅之	○
オブザーバー	国土交通省中部地方整備局建政部都市整備課長	藤田 剛	○(オンライン)
オブザーバー	刈谷市企画財政部長	伊藤 雅人	○
オブザーバー	刈谷市産業環境部長	浅岡 剛司	○

(事務局)：都市政策部都市交通課 各務課長、深谷課長補佐、安田次世代モビリティ推進係長、尾島道路計画係長、三浦公共交通係長、岡田主査、阿部主査、加藤主査、清水技師

■意見概要（発言順）：

議題 1 デマンド交通「チョイソコかりや」本格運行について

	主な意見	回答
1	・チョイソコの運行事業者として簡単に運行状況を報告する。9月までの1台運行では15人/月～25人/月の利用であった。10月からの2台運行においては、当初15人/月～30人/月の利用であったが、6月は25人/月～45人/月の利用がある。また、2台の稼働状況の偏りについては平準化できつつある。さらに、2台運行により乗務員の休憩時間を安定して確保できるようになった。引き続き安全運行を継続していく。 【潮田委員】	
2	・手続きを進める際に微修正が生じた場合は事務局に一任することを踏まえ、本議題について、承認いただけるか。 【磯部会長】	・賛成【全委員】⇒承認

議題 2 地域公共交通計画認定申請について

	主な意見	回答
1	・再編によって全7路線になったが、資料2-2の別紙の12.の補助を受けようとする路線には6路線分しか記載されていない。なぜ一ツ木線が含まれていないのか。 【清水委員】	・地域内フィーダー系統確保維持費国庫補助金は、複数の地域を跨いで運行を行う地域間幹線路線に接続している路線のみが補助の対象となる。一ツ木線は地域間幹線路線に接続していないため、対象外となっている。 【事務局】
2	・資料2-2の別紙の3.について、今後利用者数を増やす段階においては、地域公共交通に記載の乗継拠点の機能強化や分かりやすい情報の提供、利用促進イベントの実施等を記載すると良いと思う。 【原田委員】	・利用促進イベントについては今年度実施予定のため、追記する。 【事務局】

3	・追記内容については事務局に一任することを踏まえ、本議題について、承認いただけるか。 【磯部会長】	・賛成【全委員】⇒承認
---	---	---

議題 3 令和 7 年度決算について

	主な意見	回答
1	・本議題について、承認いただけるか。 【磯部会長】	・賛成【全委員】⇒承認

報告案件 1 刈谷市都市交通戦略の進捗報告（令和 7 年度）について

	主な意見	回答
1	・名古屋岡崎線の整備効果は測定できているのか。 【磯部会長】	・刈谷スマート I C の出入り交通量の状況によって効果を測定しようと考えているが、検証に必要な交通量データがまだ出ていないため、測定できていない。 【事務局】

報告案件 2 刈谷市地域公共交通計画の実施施策（令和 7 年度）について

	主な意見	回答
1	・かりまる有料化以後の利用状況はどうなっているか。 【樋口副会長】	・かりまるの利用者数は、 2 月は 38,613 人（昨年度比 73%）、 3 月は 46,010 人（昨年度比 74%）、 4 月は 46,754 人（昨年度比 76%） で月を経るごとに増加しているが、前年度よりも利用者数が少ない状況である。 【事務局】
2	・出前講座について、今後どのように取り組みを広げていくことを考えているか。 【樋口副会長】	・出前講座は現在、申込みがあれば実施する運用となっている。申込みの有無にかかわらず説明を実施するような積極的な運用については現在検討中である。 【事務局】
3	・コミュニティバス「かりまる」への再編においては、おおよそ各中学校区の範囲と一致する日常の生活範囲の移動を支えることをコンセプトとしていた。例えば福祉施策の実施においては、都市交通課だけで実施するのではなく、中学校区ごとに実施している地域包括ケアの仕組みの活用を検討してほしい。 ・申込みに応じるだけでなく、戦略的に他部局と連携して施策を実施してほしい。 【樋口副会長】	・福祉部局との連携施策としては、6/17（水）に刈谷市全域の地域包括支援センター職員等を対象に「かりまる」勉強会を実施した。バスの乗り方や、高さや乗降口の幅などのバスの特性の確認を行い、福祉施策としての高齢者外出促進に「かりまる」の利用を取り入れていく。 【事務局】

4	・安城市は商工会議所の主催で専門家を講師とする「あきんど塾」を実施していた。刈谷市でも市だけでなく、公共交通事業者が一堂に会する場を設けて、公共交通全般の使い方、シーンに合わせた公共交通の選び方を説明してはどうか。 【横山委員】	・刈谷市にも講座はあるが、今年度で終了することとなったため、安城市と同じように進めることは難しい。また、各団体がそれぞれ説明するのであれば講座で実施するのに適しているが、モード横断的な内容を実施するのであれば講座で実施することは適していないかもしれない。主体を誰にするのかについても検討が必要となる。 【岡田委員】
5	・東浦町や大府市、知立市では、産業まつりや福祉イベントにバス車両とタクシー車両の両方を出展し、乗り方を学ぶ機会を設けている。UD タクシーの場合には、車いすでの乗り方を学べる機会となっている。また、その際にコミュニティバス事業者は求人活動を実施している。 ・知立市や安城市では、小中学生を対象に夏休みのコミュニティバス運賃を無料にする施策を実施し、将来の利用促進策を実施している。施策の実施に併せて「〇〇学区ープールや大型商業施設の利用にはこの路線を使うと良い」等のパンフレットを作成し、学校で説明会を行っている。 【潮田委員】	・今年度は新規に謎解きイベント、小学校の夏休みのポスター課題、小学校でのバス交通安全&乗り方教室を実施予定である。また、毎年秋に実施される福祉・健康フェスティバルに今年度も出展を予定している。他自治体の事例も参考にしながら、利用促進の取組を推進する。 【事務局】
6	・刈谷市でも産業まつりを実施しており、内容は子供向けの職業体験イベントである。現在、出展事業者を募集しているため、ご協力をお願いしたい。 【岡田委員】	・大府市や東浦町では、子どもが運転手、親を客とする運転手体験・撮影会を実施している。協力できるところは協力していきたい。 【潮田委員】

報告案件 3 刈谷市自転車活用推進計画の進捗報告（令和7年度）について

	主な意見	回答
1	・なし	

報告案件 4 東浦町コミュニティバス「う・ら・ら」の運賃改定について

	主な意見	回答
1	・なし	

報告案件 5 令和8年度協議会スケジュールについて

	主な意見	回答
1	・なし	

その他 議題・報告全体に対する意見について

	主な意見	回答
1	・今回の協議会では報告案件１～３において前年度の施策や進捗の報告があったが、特に報告案件２の「刈谷市地域公共交通計画の実施施策（令和７年度）について」において、新たに実施を予定している施策に対して意見聴取・意見交換ができたため、良い議論の場であったと思う。他の自治体では実施した報告のみでなく、これから実施する施策の計画を述べている事例もあるので、そのような運用を検討いただきたい。 【樋口副会長】	・前向きに検討する。 【事務局】